

第4学年2組 道徳学習指導案

1 主題名 一人一人にあるすてきな力

2 資料名 花をさかせた水がめの話（出典：学研）

3 主題について

（1）ねらいとする価値について

この主題は、自分のことをよく知るとともに、良いところを伸ばそうとする態度を育てることをねらいとしている。人は誰もが自分にしかない良さを持っている。その魅力に気づき、また、自分の良さを発揮してそれが誰かに認められた時、誰かの役に立つことができた時に得られる喜びは大きい。この気持ちは自分を好きになるきっかけになり、自信にもつながる。

本資料を通して児童一人一人が自分の良さを知り、それを大切にしていける姿勢を育てるだけでなく、自分が誰かの役に立つ喜びを感じさせたい。

（2）ねらいにかかわる児童の実態

本学級の児童は、学年が上がって1か月以上が経ち、また、林間学校に向けて役割が決まったことで少しずつ自覚が芽生え、自分で考えて行動することができるようになってきている。しかし、まだ係などの与えられた仕事に対し、最後まで責任を持ってやり遂げられない場面や、先生に言われてから行動する場面が多々見られる。

また、先日の校外学習で自分の得意なことや自慢できるところはあるかと聞かれた時に、自信をもって手を挙げる児童がいる一方で、手が挙がらない児童も何人かいた。

そこで、本資料を通して自分の良さを見つけ、それを学校生活やクラスの中에서도生かすことはできないか考えると同時に、自分の役割を認識し、積極的に自分の力を発揮していこうとする姿勢を育てていきたい。

（3）資料について

本資料の「花をさかせた水がめ」では、ひびわれが原因で自分に自信が持てなかった「ひびわれた水がめ」が、自分のひびわれからこぼれた水が干からびた地に花を咲かせたことによって、自分の良さに気づき、役に立っている喜びを実感して自分を好きになっていく様子が描かれている。①「めいわくばかりかけて、申しわけありません」と言っている水がめの気持ち、②2年という時の経過と、ついに耐えられなくなって「いっそのことこわしてください」と言った水がめの気持ち、③自分が咲かせた花を見た時の水がめの気持ちの3つ場面を取り上げ、話し合いを通して気持ちに共感できるようにする。そして本資料をもとに、自分の良さを考え、良いところを伸ばすきっかけを与えたい。

4 指導計画

2時間（本時1/2時）

5 本時の学習指導

（1）ねらい

自分のことをよく知り、よいところを伸ばそうとする態度を育てる。

（2）展開

学習活動	主な発問と予想される児童の反応	教師の支援	時間
1 本時の主役になる「水がめ」の絵を見せる。	○ 悲しそうな顔をしている		10'
2 資料「花をさかせた水がめの話」を読む。 ワークシートを配布し、場面を3つに分ける。	○ どうして水がめの表情がこのように変化するのか、考えながら聞いてみましょう。	○ 初めの悲しい顔と、最後の嬉しそうな顔を見せ、どうしてこのように水がめが変化するかを考えさせながら聞かせる。	
3 ワークシートに記入したことをもとに話し合う。			25'
場面① 水が半分になっていることに申しわけなさを感じる。	○ 「めいわくばかりかけて、申しわけありません」と言っている水がめは、どのような気持ちでしょう。 ・ 男が苦労して働いているのに、自分のせいで水が半分になって申し訳ない。 ・ 男は優しく声をかけてくれるけど、余計に自分が嫌になる。	○ 自分ではどうすることもできない水がめの気持ちに共感できるようにする。 水くみの男が優しく声をかけてくれたことについても考えられるようにする。	
場面② 2年が経ち、水がめはついにたえられなくなる。	○ 男に「いっそのことかわしてください」と言った水がめは、どのような気持ちでしょう。 ・ もう迷惑しかかけられない自分にたえられない。 ・ こんな自分ならいなくなった方がましだ。	○ 2年の時の経過と、ついにたえられなくなった状況をとらえられるようにし、自分を壊してほしいと言った気持ちが理解で	

場面③ 自分の咲かせた花を初めて見る。 4 3つの場面を振り返り、まとめる。 5 自分の良いところについて考える。 まずは、隣の人のいいところを見つけて伝え合う。 その後に自分と向き合い、ワークシートに自分のいいところを記入する。 6 まとめと次回の「良いところ見つけ」の予告	○ 自分が咲かせた花を見て、水がめはどのような気持ちになったでしょう。 ・自分がこぼした水がかがやく花の道を作っていてびっくり。 ・自分はだめだと思いこんでいたのがおろかだった。 ・こんな自分でも役に立っていて嬉しい。 ・今まで嫌いだった自分が大好きになった。 ○ 「自分のいいところ」について考えたことがありますか。	きるようにする。 ○ 自分はだめだと思い込んでいたおろかさに気づけるようにし、自分が役に立つ喜びに共感できるようにする。 ○ 先生の考える、自分のいいところを紹介する。 隣の人のいいところの例を挙げる。 (例) 元気なところ、みんなを楽しませてくれるところ、誰にでも優しいところ、など	10'
---	--	---	------------

6 備考 在籍児童数 35名

7 板書計画

--